

Photo Album



会派にて榊原市長に28年度予算編成に対する要望書を提出（市の活性化や市民福祉の向上施策など82項目）



大村知事、榊原市長と
ハワイアンフェスティバル



はずストーンカップ
「がんばる市議団」



名鉄西尾・蒲郡線利用促進大会



きらまつりにてU字工事と



市民まるごと防災訓練

笑顔であいさつ

人と接する第一歩は挨拶であり、その挨拶によって相手の対応も異なります。気持ちのよい挨拶からその日、その時をスタートしたいものです。恥ずかしさなどもあって躊躇してしまう時もありますが、挨拶を進んで行なって決して悪い結果にならないと思います。大きな声を出すこともストレス解消になります。挨拶を交し合えれば必ず爽やかな気持ちになれますし、コミュニケーションを図ることもできます。

笑顔は本人にとっても他人にとっても気分のいいものです。笑顔でいることによって自分の心も和やかでいられますし、笑顔の人を見られることも爽やかな気持ちになれます。人は気分の良い時ばかりではありませんが、心構えとして常に笑顔を忘れないことが大切だと思います。

挨拶と笑顔は職場や外出先だけでなく家庭においても良いことです。皆さんも積極的に笑顔で大きな声で挨拶をしましょう。



お知らせ

市政レポートは、毎年、新年号と新年度号を発行していましたが、28年からは新年と夏期にします。なお、幡豆地区は毎回新聞折り込みしています。

◆ 人を大切にする政治 ◆

西尾市議会議員

渡辺 信行

2016年 新年号 発行人 渡辺信行後援会

市政レポート

〒444-0701 西尾市東幡豆町中川原3番地
TEL 62-3217

謹賀新年



本年も皆様にとりまして幸多き年になりますようご祈念申し上げます。
西尾市は、防災・減災対策を始め子育て支援や教育環境の充実など将来を見据えた施策に取り組んでいます。全国的に懸念されています少子高齢化や人口減少の対応とともに公共施設再配置事業など、新たなまちづくりを推進していかなければなりません。まちづくりは市民との協働が必要不可欠でありますので皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。議員として、西尾市の発展と市民の皆様が安全で安心して暮らせるよう議員活動に努めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



行事予定等

- 1月 3日（日）てんてこ祭 午後1時 熱池八幡社
- 4日（月）市役所仕事始め 午前8時30分
- 9日（土）消防出初式 午前10時 文化会館南駐車場
- 10日（日）成人式 午前11時30分 総合体育館
- 24日（日）一色マラソン大会 午前8時40分 一色町体育館周辺道路
- 31日（日）子ども会大会 午後1時15分 文化会館
- 2月 6日（土）ふれあいにここまつり 午後1時 文化会館
- 7日（日）中部日本剣道大会 午前9時30分 総合体育館
- 14日（日）鳥羽の火祭り 午後7時 鳥羽神明社



てんてこ祭
五穀豊穡を祈念する天下の奇祭



消防出初式
消防職員、消防団員が訓練の披露



鳥羽の火祭り
1200年余の歴史がある天下の奇祭

一般質問の概要

議題 各種選挙における投票率向上策について

問 旧幡豆郡地区の期日前投票率は極めて低い。期日前投票所を増設して投票率を上げる考えはあるか。

答 投票日当日での投票が前提であるので、全体の投票率を基に市内全域を見据えて、国の選挙制度改革の結果と合わせて検討していく。

問 選挙権年齢の引き下げを活かすための投票率向上策をどのように考えているか。

答 将来の有権者となる小・中学生や高校生への地道な啓発活動が必要と考える。選挙出前トークの開催や明るい選挙啓発ポスターコンクールなど実施して投票率向上のための啓発に努める。

問 歩道橋やショッピングセンターなどに啓発の横断幕や垂れ幕を設置しないか。また、より効果的な啓発方法を考えているか。

答 ショッピングセンターなどの垂れ幕の設置は今後検討していく。啓発の進化については、通常の啓発に加えてコンビニのレシートに表示するなど先進地の事例を参考に研究していく。

問 ポスター掲示場は人口密度、地勢、交通等の事情を考慮して公衆が見やすい場所に設置されているか。

答 人の集まる公共施設を中心になるべく目につく場所を選定し今後も適当な場所になるよう努める。

議題 防犯対策について

問 市民の防犯意識を高めるための対策や課題はどのようなか。

答 市民が犯罪は身近に起こりえるものと捉えて防犯に関心を持つことが大切である。そのため、街頭啓発や防犯パトロールなど啓発活動を続けていく。課題は、「自分の安全は自分で守る」、「自分達のまちは自分達で守る」という意識の高揚と地域ボランティアを増やすことなどである。

問 防犯カメラ設置補助金制度の実施予定及び必要経費はどのようなか。

答 平成28年度から実施したいと考えている。必要経費は今後設置台数等を検討して算出する。

議題 防災のための同報無線の整備について

問 同報無線のデジタル化に伴う旧幡豆郡地区の対応はどのようなか。

答 現在各世帯に貸与している戸別受信機は受信できなくなる。そのため屋外拡声子局を幡豆地区に22局、吉良町に21局、一色町に25局増設する予定で、必要経費は概算で6億1千万円。

*会議録はホームページでご覧いただけます。西尾市議会で検索→会議録の閲覧と検索→本会議の閲覧→平成27年9月定例会→2015.09.02平成27年9月定例会（第2号）本文



お知らせ

（１）防災・減災対策を推進します。（危機管理課他）

西尾市の最重点課題と位置づけ、ハード、ソフト両面から災害に強いまちづくりを進めます。本年度は、橋梁修繕工事、堤防の地震対策調査、避難収容施設の吊り天井の耐震化、水道管路の耐震化などに取り組んでいます。

（２）公共施設再配置を進めます。（資産経営課）

新たなまちづくりの出発点として公共施設のあり方を見直す、「公共施設再配置」を進め、新しい公共空間の創造を目指しています。西尾市の将来人口及び財政規模の動きに合わせて、公共施設（ハコモノ）の保有総量を段階的に圧縮することで、効率的・効果的な施設の維持管理・運営・配置を実現するものです。

（３）乗って残そう！名鉄西尾・蒲郡線（地域支援協働課）

乗降客数が減少したことで将来の存続が危ぶまれている名鉄西尾・蒲郡線を市民の皆様に使っていただけるよう運賃補助を行っています。電車の利用にご協力をお願いします。

（４）ふるさと応援寄付金制度を開始しました。（企画政策課）

地場産業の活性化と独自財源の確保を目指すとともに、市の魅力を広く全国へ発信するため6月1日より開始しました。一定額以上の寄付者には市の特産品を贈呈します。西尾のまちづくりを応援してください。

（５）耐震診断や耐震改修などの費用を補助します。（建築課）

地震災害から市民の生命や財産を保護するため、昭和56年5月31日以前に着工した住宅の耐震診断や耐震改修の費用を補助します。

（６）マイナンバー制度が始まりました。（市民課）

1月から、雇用保険、確定申告の手続きなど法律で定められた事務に限り利用されます。一生使うものですので大切にしてください。

交通事故に気をつけて

- ・26年の愛知県の交通事故死者数は204人で12年連続全国ワースト1です。名古屋、西尾張、東尾張、西三河、東三河、高速の区分で西三河が一番多くなっています。
- ・27年1月から11月までの愛知県の交通事故死者数は192人です。
- ・27年1月から11月までの西尾市の人身交通事故発生件数は683件です。
- ・愛知県は車両の保有台数が全国1位、道路の総距離が全国3位、運転免許保有人口が全国4位となっており、自家用車依存度が高く、交通事故に繋がるリスクが高くなっています。交通死亡事故の発生場所は交差点が多く、高齢者の被害が多くなっています。年末年始の時期は日が落ちて暗くなる時間が早いし、忘年会や新年会で気が緩んだ状態で歩く人が多くなり、交通事故の起こりやすい時期です。交通マナーを守り、安全運転、安全行動に努めましょう。



毎月10日に西幡豆交差点で交通安全を呼び掛け